

原田二郎ゆかりのお社 -雨竜神社と松阪神社-

2026 1/17^土 - 4/26^日 【学芸員による展示解説】
2/28（土）・4/25（土）



【雨竜神社扁額】松阪神社所蔵

現在、殿町のカトリック松阪教会が所在する場所には、かつて素戔鳴尊を祀る雨竜神社がありました。雨竜神社は、蒲生氏郷が城と城下町を築く以前の矢川庄（松阪中心市街地一帯の古称）の氏神として鎮座しており、江戸時代には松阪の四天王社（祭神は牛頭天王＝素戔鳴尊）の一つとして信仰されていましたが、明治41年（1908）に松阪神社へ合祀されました。原田二郎の伝記によれば、原田家はもともと雨竜神社の氏子であり、二郎が帰省した際には松阪神社へ参拝していたと記されています。また、昭和11年には原田積善会により狛犬が奉納されています。本展示では、原田二郎ゆかりの雨竜神社・松阪神社に関する資料や、二郎との関わりを示す品々をご紹介します。